

単元構想力の向上と「校内研究」について考える

令和5年度第2回管内地域授業改善協議会 参加者からの学び

【日田教育事務所】

【要旨】

「第2回日田管内地域授業改善協議会」

- ◆参加者
○小・中学校 研究部に所属する教員、管理職等 ○管内市町教育委員会関係者 ○教育事務所 計49名
- ◆目的
管内の各小・中学校の校内研究部に所属する教員等を対象に、単元構想力の向上につながる校内研究についての説明・協議等を行なうことにより、各学校における組織的な授業改善の推進に資する。
- ◆当日の流れ
①演習(個人作業→グループ作業)
②全体交流
③グループ協議
- ◆協議の視点
単元構想(体験)の成果と課題及び、校内で単元構想の演習に取り組むために重視したいこと。



【受講者アンケートの回答より】

チャレンジに向けて

■学習指導案を書く前の単元構想の時間は大事。独りよがりな考え方から抜け出せたと感じ、自身の刺激になった。

子どもの立場で

- 子どもの実態や願いに寄り添うことをあらためて大事にしたい。
- 単元構想の視点「教材の特性」について、本校の研究に関わる部分であり、参考にできる。「素材研究」の視点を大切にし、今後、さらに研究を進めていきたい。

単元構想 = 自由な発想から

- 演習を通して、単元を構想するには、自由な発想も必要であるとわかった。
- 型にはまらない授業展開を工夫するためにも、十分な教材研究が必要だと感じた。

校内研修での活用

- この演習を校内で取り組みたい。全教員の共通理解が深まることが期待できそうだ。
- 自分の専門外の教科で単元構想をしたことが良い経験となった。
- 授業研究はやはり楽しい。演習での単元構想を通して、教師として本来あるべき姿を振り返ることができた。この研修内容を校内で還流することを計画している。
- 演習の大切さを理解するとともに、経験年数の浅い教員の単元構想力の向上に向けて、研修で活用できる。
- 校内の先生方が、1年間にいくつかの単元で構想するとよい。